

先駆

青森青年会議所
会報誌

11月号

JC囃子隊ボーリング交流会



2024年11月10日(日) コロナ等の理由で中止されておりましたが、JC囃子隊とのボーリング交流会が5年ぶりに開催されました。囃子隊と現役メンバーやその家族と、多くの参加者が集まり交流を深めました。

11月例会 2024年度卒業式



2024年11月18日(月) モルトン迎賓館にて2024年度卒業式を執り行いました。本年度は7名の卒業メンバーがおり、それぞれのメンバーへ送辞が贈られました。また、2年の任期を終える成瀬監事、また石田直前理事長も24年度で最後となるため、一緒に卒業を祝いました。

JC特別会員交流会



2024年11月28日(木) ホテル青森にて、初となる特別会員との交流会を開催いたしました。次年度のねぶた事業や本会の会員拡大の件等の情報を特別会員と共有しました。初の試みとなった特別会員交流会では、先輩方からの貴重な体験談のお話もあり、我々現役にとって貴重な時間となりました。今後も定期的開催したいと感じました。

先駆

青森青年会議所
会報誌

11月号

青森ブロックアカデミー閉校式/卒業式/大望年会



2024年11月30日(土) アートホテル弘前シティにて、ブロックアカデミー閉校式、卒業式並びに大望年会が開催されました。アカデミー閉校式ではアカデミー生からこの1年間の成果として学びの集大成が報告されたほか、褒賞発表では当LOMからも石井君が優秀賞に選出されました。卒業式並びに大望年会では各LOMから多くの卒業生が集結し、これまでの苦労話や思い出話に花を咲かせていました。

アカデミー生代表コメント

入会2年目の年ということでブロックアカデミーに出向することになり、1月の開校式、3月の第一講座までは「その日は予定が空いてるし、無理のない範囲で参加しよう」と軽い気持ちで臨んでいました。それが変化したのが、5月に開催され、事業構築の基礎を学んだ第二講座です。アカデミー生が3チームに分かれて、LOMの抱えている課題を解決する事業を考えて第三講座でプレゼンし、採用された事業を第四講座で実際に実施するという内容でした。第二講座の限られた時間の中では事業構築できるわけは当然なく、WEB会議で幾度となく話し合いが行われました。回数を重ねていくうちにチームメンバーとの連帯感が高まっていき、この時点で「あれ?これって途中で抜け出せない状況じゃない?」と薄々感じていました。さらに、第三講座のプレゼンが終わっても、第四講座での事業実現に向けてやるのが目白押しで「あとはよろしく!」といえない状況に置かれていたことを覚えています。とにかく大変だったの一言に尽きますが、最終的には事業も成功と言えるものになったと思いますし、苦労を共にした仲間とLOMを超えて友情を育むことができたことは何にも代えがたい大事な財産になったと思います。

石井 千尋

先駆

青森青年会議所
会報誌

12月号

12月通常総会

2024年12月15日(日) ホテル青森にて12月通常総会が開催されました。2024年度12月補正予算や25年度事業計画、そして25年度予算と承認されました。また、会員資格規程の変更、就業規程変更、大会登録に伴う特別会費徴収も承認されました。

総会后、プレジデンシャルリース伝達式、褒賞授与と続き、2024年を締めくくり2025年度への第一歩を踏み出しました。



家族忘年会



2024年12月15日(日) コロナ禍以降5年ぶりとなる家族忘年会を開催いたしました。メンバーの家族や子供たちも多く参加していただき楽しい忘年会となりました。

2024年度 卒業生代表コメント

2013年に入会し、これまで多くの卒業生を見送ってきた卒業式で、今年は私が送られることとなりました。先達はもとより、私より後に入会してきて先に卒業するかたも数多くおり、多くの先輩が涙しているのを見て、私もさぞ寂しい気持ちになるのかと思っておりましたが、実際は、悲しいのかうれしいのか、寂しいのかさっぱりしたのか、全く整理のつかない感情に戸惑ってしまいました。

入会してから12年間、委員長、副理事長、専務理事、理事長、ブロック副会長、ブロック監査、ブロック会長、地区副会長、地区顧問と、高い視座での経験を数多くさせていただき、多くの成長をいただきました。

これからは、この経験を活かし、先輩方のように社業を通じて社会に貢献できる人財になっていきたいと思っております。

今まで大変お世話になりました。

岡崎 勇介

始めて会館の中に入り仮入会の面接を受けた時の事が昨日のように感じます。あれから8年間長いようで短いものです。この8年間で色々な活動を通して多くのものを得られることが出来ました。失うお金も多かったですが…もしJCに入会していなかった自分が居たとして、彼に胸を張ってJCに入会しておけば良かったのにと確実に言えることが一つだけあります。それは人との繋がりです。多くの先輩方、同期、後輩、そして活動を通して出会った人達。この人たちとの繋がりには仕事では決して得る事の出来なかったものです。この人との繋がりを通して少くくは自分自身も成長できたのではないかと思います。これまでは自己成長のターンでしたが、今後はこれを会社に還元するターンだと思います。JCで得た色々な経験、人との繋がりを貴重な財産として卒業後の人生に生かしていきたいと思っております。

小寺 純弘